

ミナトホールディングス株式会社
2022年3月期 第1四半期決算説明資料

2021年8月10日



MINATO

証券コード 6862

CONTENTS

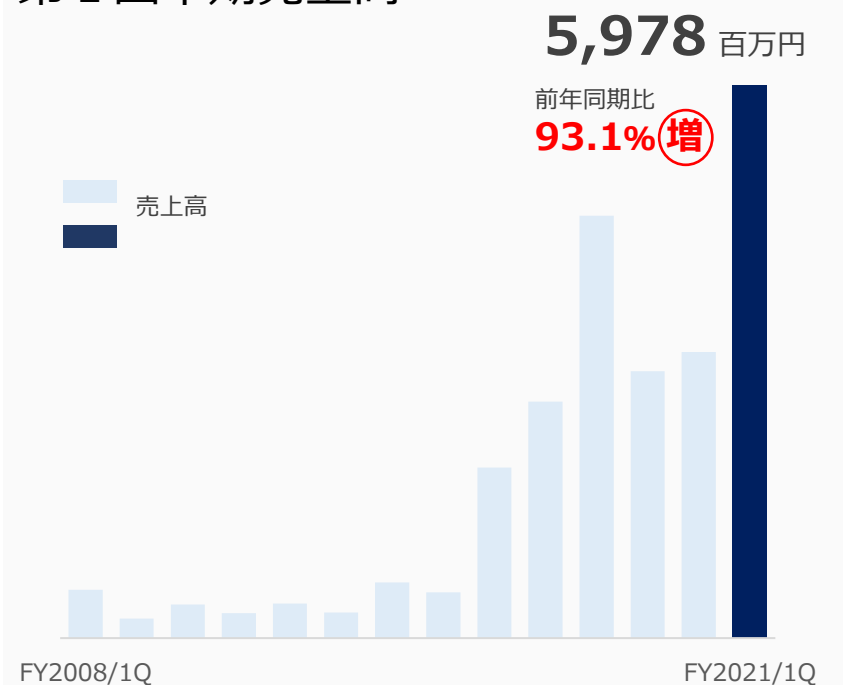
- ① 2022年3月期 第1四半期決算ハイライト
- ② 2022年3月期 第1四半期連結業績概要
- ③ セグメント別売上高／営業利益
- ④ 2022年3月期 通期連結業績予想と今後の施策
- ⑤ ミナト・トピックス
- ⑥ appendix

2022年3月期 第1四半期決算ハイライト①

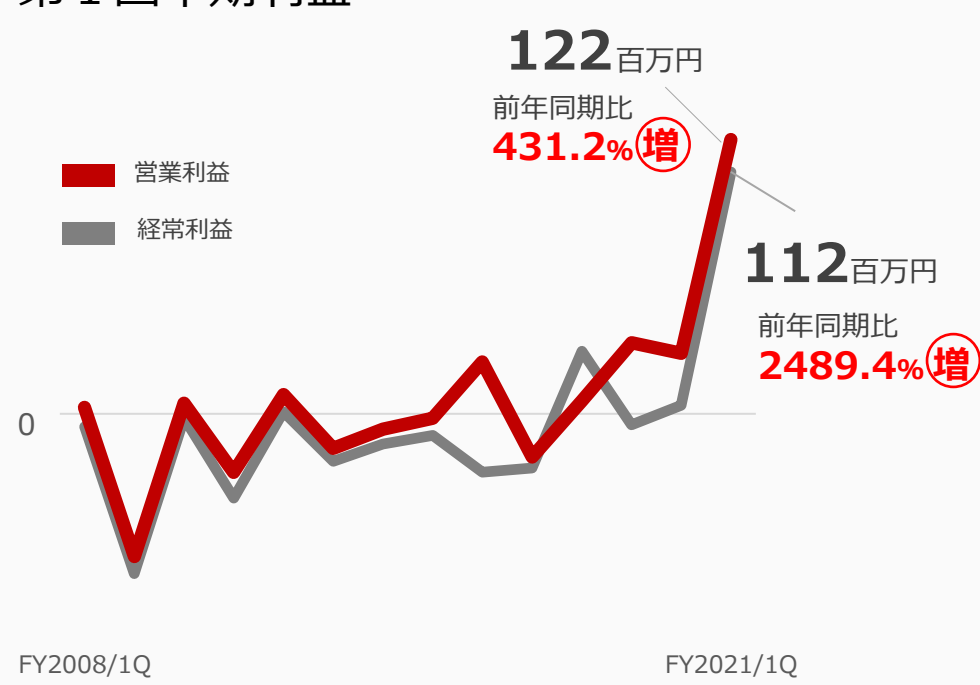
1Qの売上高／営業利益／経常利益は 2008年度以降、最高

※比較可能な四半期での業績開示を開始した2008年度以降で最高

第1四半期売上高



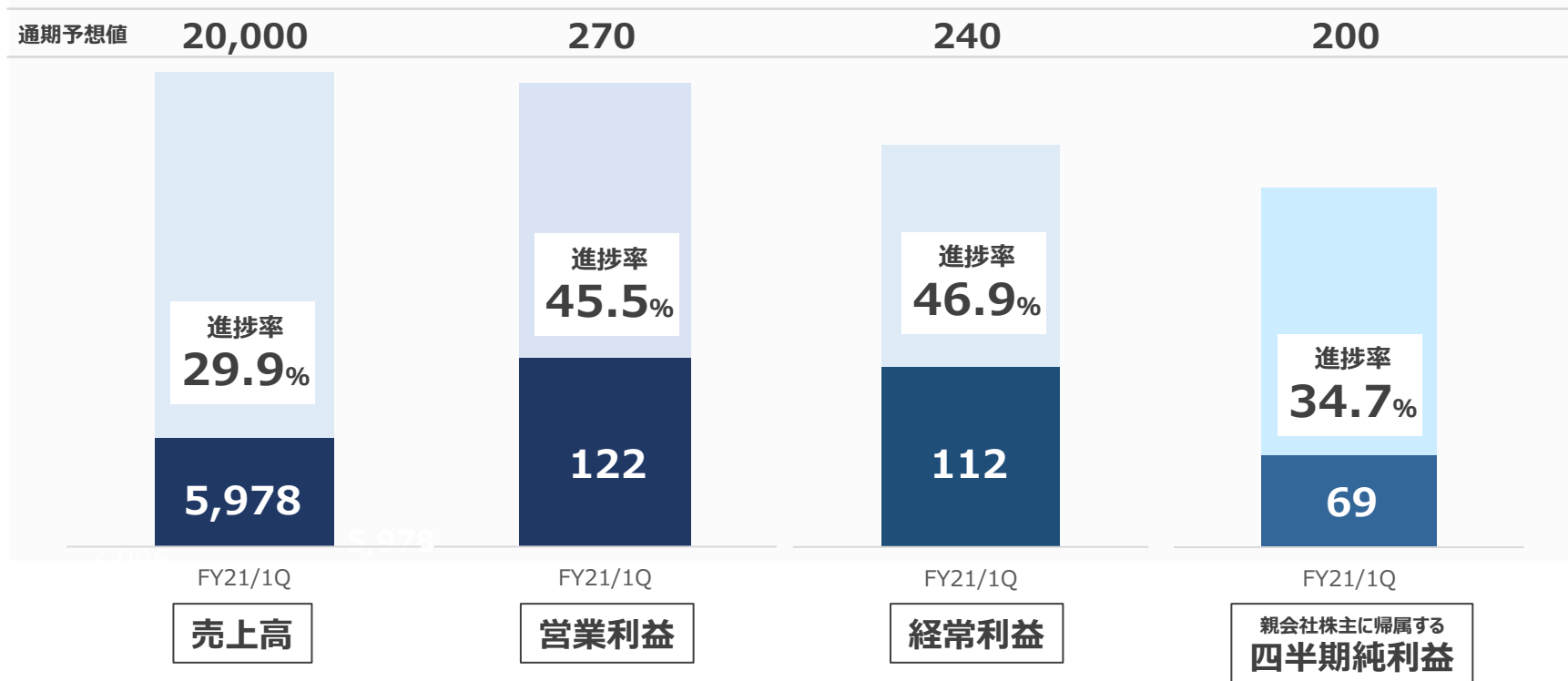
第1四半期利益



2022年3月期 第1四半期決算ハイライト②

業績予想に対して 売上高、利益ともに順調に進捗

(百万円)



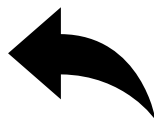
業績予想は据え置き。2Q以降も予想達成に向けて全グループを挙げた取り組みにまい進。

ROM書込みサービス 新規プロジェクトが収益拡大に貢献

日本サムスン株式会社、株式会社トーメンデバイス、ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社（MAT）の3社にて手掛けているデバイスの供給プロジェクト。
国内大手メーカーが国内及び世界に向けて販売する製品に搭載されており、進捗は順調。

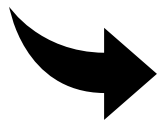
日本サムスン／トーメンデバイス

高性能・新型大容量デバイス
供給



MAT

プログラム書込み



- 2021年4月14日公表 <https://www.minato.co.jp/cms/wp-content/uploads/2021/04/210414.pdf>
「ミナトホールディングスのグループ会社 日本サムスン、トーメンデバイスとともに国内大手メーカー向け製品のROM書込みを本格稼働」

新たに2社を連結

The logo for ITCraft, featuring the letters 'IT' in orange and 'Craft' in dark blue.

- 株式会社アイティ・クラフト
 - システム構築、技術者派遣事業
 - 2021年2月に子会社化
 - 当連結会計年度より連結の範囲に含める



- 株式会社パイオニア・ソフト
 - システム開発事業
 - 2021年4月末に当社保有の同社A種優先株式をすべて普通株式に転換し、連結子会社化
 - 当第1四半期末より、貸借対照表を連結に取り込む（P/Lは第2四半期より連結）



2022年3月期第1四半期 連結業績概要

連結業績概要① / 損益計算書 (2021年4月1日～2021年6月30日)

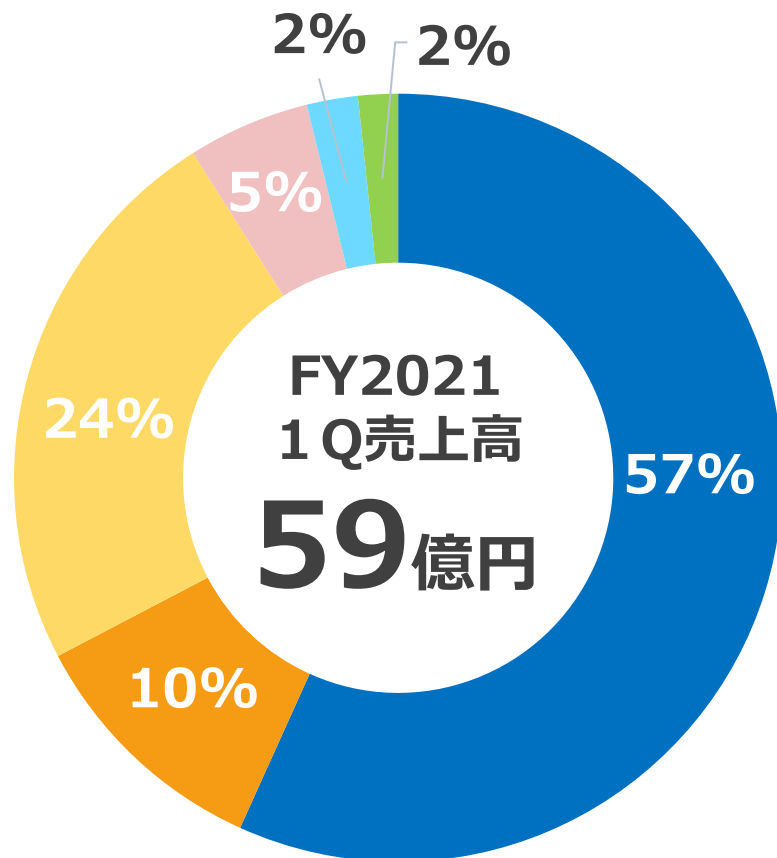
売上高・営業利益・経常利益は、前年同期比で大幅に増加。グループ企業が増えたことに伴い、販管費も増加

(単位：百万円)

	FY20/ 1 Q (①)	FY21/ 1 Q (②)	増減額 (② - ①)	増減率 (%)
売上高	3,096	5,978	2,881	93.1
売上総利益	346	929	582	168.2
販管費	323	806	482	149.4
営業利益	23	122	99	431.2
営業外損益	△18	△ 10	8	—
経常利益	4	112	108	2489.4
特別損益	131	2	△128	△98.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	118	69	△48	△41.1

連結業績概要② / セグメント別売上高 (2021年4月1日～2021年6月30日)

各セグメントの売上割合



セグメント別の売上高

(単位：百万円)

メモリーモジュール	3,420
テレワークソリューション	637
デジタルデバイス周辺機器	1,429
デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション	310
システム開発	129
その他	101

連結業績概要③ / セグメント別営業利益 (2021年4月1日～2021年6月30日)

コロナ禍による影響は各事業で回復傾向。デバイスプログラミング事業はROM書込みサービスの新プロジェクトが好調で、前年同期比78百万円増と収益が大幅に向上。

(単位：百万円)

営業利益	FY20/ 1Q	FY21/ 1Q	増減額
メモリーモジュール事業	159	208	49
テレワークソリューション事業※	—	5	5
デジタルデバイス周辺機器事業※	—	△21	△21
デバイスプログラミング・ ディスプレイソリューション事業	△46	31	78
システム開発事業	15	14	△1
その他事業	△5	△4	1
全社費用	△100	△110	△10
営業利益	23	122	99

※テレワークソリューション・デジタルデバイス周辺機器の両事業につきましてはFY20/3Qから連結の範囲に含めているため、前年同期比がありません。

連結業績概要④ / 貸借対照表

メモリーモジュール事業好調のため、流動資産が大幅に増加

(単位：百万円)

	21/3末	21/6末	増減
資産の部			
流動資産	10,138	10,844	706
現金及び預金	2,382	2,366	△ 15
売上債権	3,504	3,979	475
商品及び製品	2,412	2,748	335
原材料及び貯蔵品	789	707	△ 81
固定資産	2,486	2,442	△ 44
有形固定資産	1,334	1,355	21
無形固定資産	283	310	27
（うち、のれん	238	267	29)
投資その他の資産	869	776	△ 93
（うち、投資有価証券	429	304	△ 124)
（うち、関係会社株式	1	0	△ 1)
繰延資産	0	0	△ 0
資産合計	12,625	13,287	662

受取手形及び売掛金
 パイオニア・ソフト +124百万円
 サンマックス・テクノロジーズ +600百万円
 プリンストン △273百万円

商品及び製品
 原材料及び貯蔵品
 サンマックス・テクノロジーズ +62百万円
 プリンストン +126百万円

有形固定資産
 デバイスプログラミング事業 +30百万円

無形固定資産
 パイオニア・ソフトのれん +35百万円
 のれん償却 △8百万円

投資その他の資産
 パイオニア・ソフト敷金 +21百万円
 サイバーセキュリティクラウド株式売却・時価
 評価等 △124百万円

連結業績概要⑤／貸借対照表

当第1四半期末からパイオニア・ソフトの貸借対照表を連結したこと等により、自己資本比率は25.5%に低下（前期末比△1.6ポイント）

（単位：百万円）

	21/3末	21/6末	増減
負債の部			
流動負債	6,992	7,764	771
支払手形及び買掛金	1,424	1,495	70
短期借入金	3,540	4,190	650
1年以内返済長期借入金	610	566	△44
固定負債	2,113	2,040	△73
長期借入金	1,772	1,704	△67
負債合計	9,105	9,804	698
純資産の部			
株主資本	3,347	3,247	△99
その他の包括利益累計額	75	134	59
（うち、 <u>その他の有価証券評価差額</u>	153	125	△27
新株予約権	88	86	△2
非支配株主持分	7	14	6
純資産合計	3,519	3,483	△36
負債純資産合計	12,625	13,287	662

短期借入金	
ホールディングス	+600百万円
パイオニア・ソフト	+180百万円
約定弁済等	△175百万円

長期借入金	
パイオニア・ソフト	+29百万円
アイティ・クラブ	+29百万円
約定弁済等	△124百万円

株主資本	
当期純利益※1	+69百万円
株主配当	△69百万円
自己株式	△19百万円
利益剰余金※2	△82百万円

その他の包括利益累計額	
利益剰余金への振替※2	+82百万円
有価証券評価差額	△27百万円

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

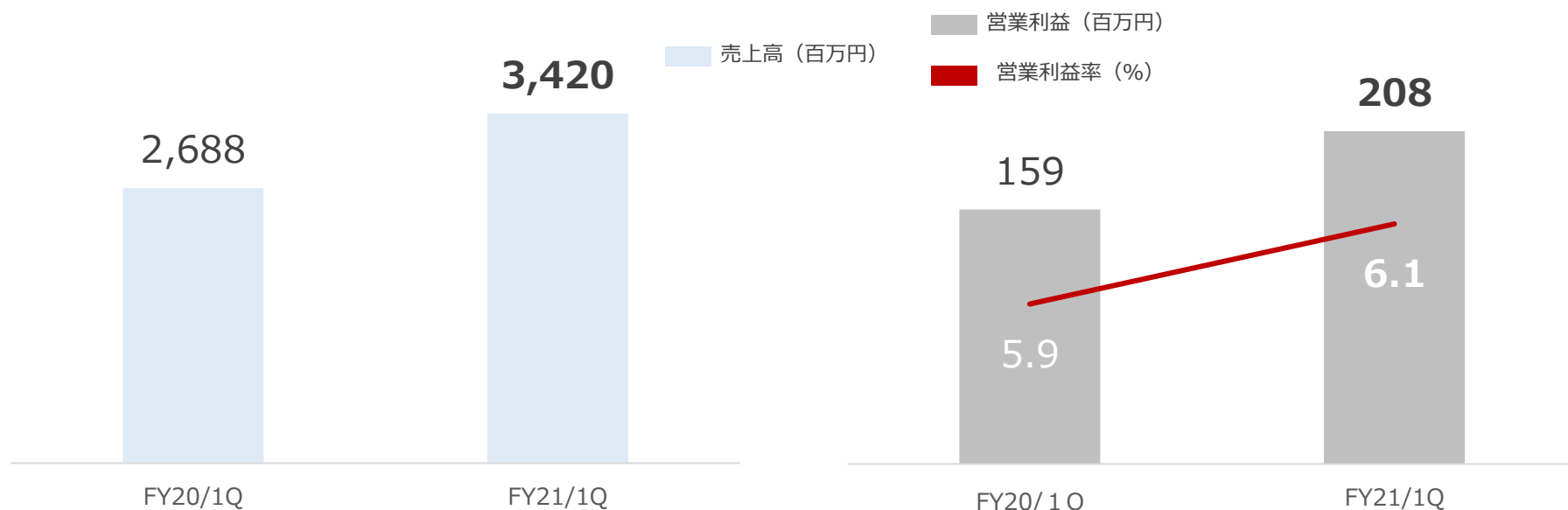
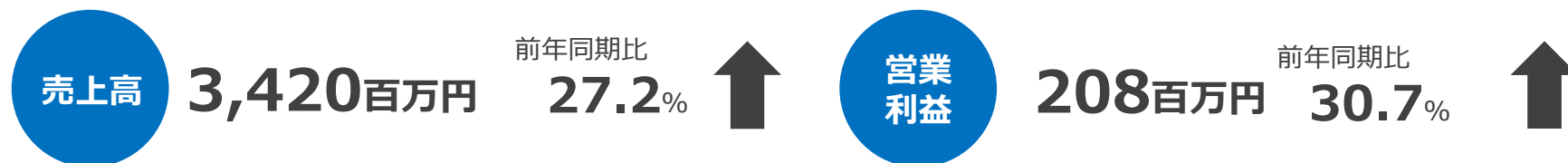
※2 同一事象に係る同額での振替処理

3

セグメント別売上高／営業利益

メモリーモジュール事業

世界的な半導体不足の影響で、産業用途向けメモリーモジュール・個人用PC用途向けメモリーモジュールともに販売が好調。前事業年度のコロナ禍による影響からも回復しつつあり、増収増益



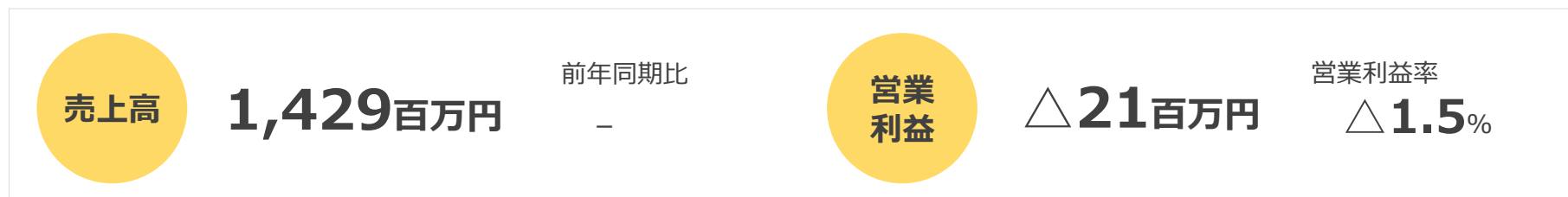
テレワークソリューション事業

テレワーク推進の動きに伴い、ライセンス需要は引き続き堅調。新しい働き方とされる「ハイブリッドワーク」導入を見据え、据え置きタイプのデジタル会議専用端末導入に向けた営業活動を強化



デジタルデバイス周辺機器事業

ゲーミング関連製品や液晶ディスプレイ等の売上高が伸長するも、半導体不足の影響による各種部材の調達に係る製品コストが上昇



両セグメントともに季節要因があり、企業や教育機関等での需要が高まる2Q以降の業績伸長を想定

デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業

ROM書込みサービスの新規プロジェクトが順調に進捗して収益に貢献。コロナ禍で落ち込んでいた顧客企業の設備投資が前年より回復し、デバイスプログラマ本体や変換アダプタ、タッチパネル等も堅調に推移。

売上高

310百万円

前年同期比

37.8%

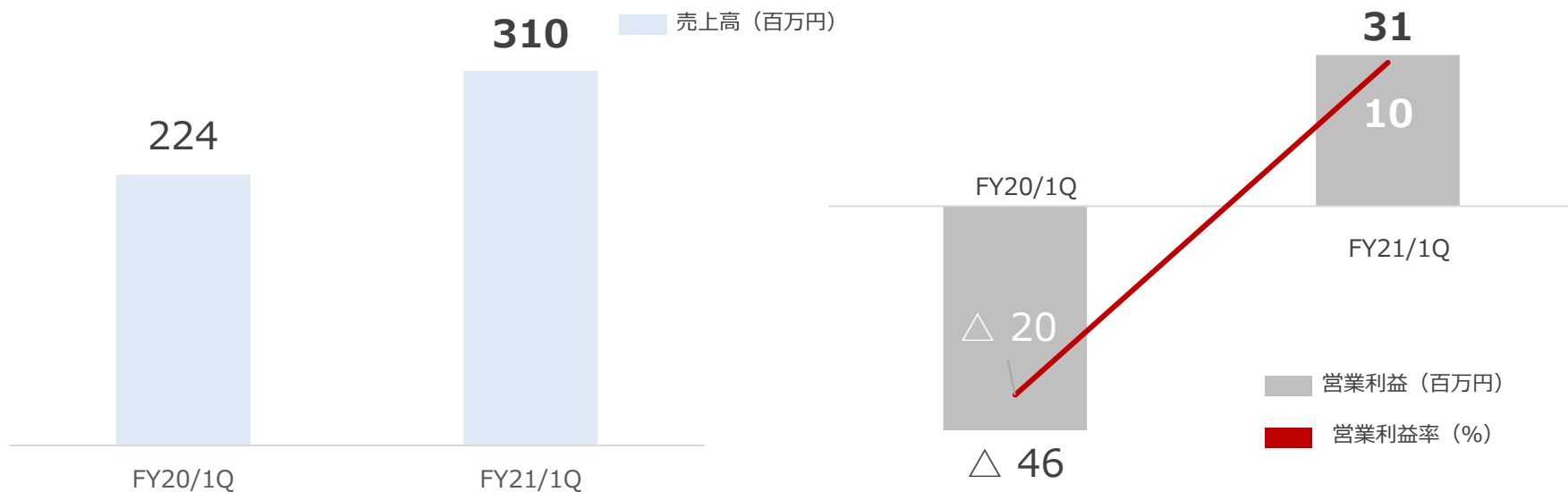


営業利益

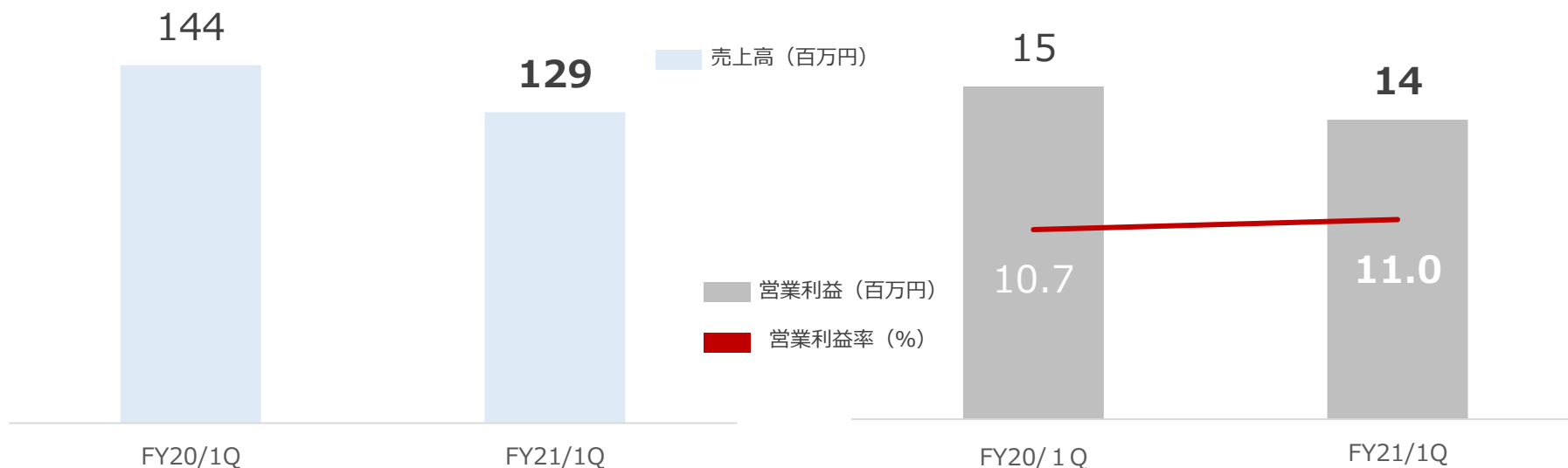
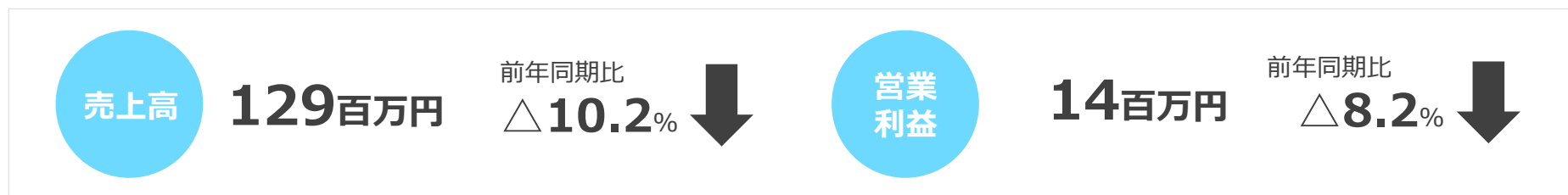
31百万円

前年同期比

+78百万円



技術支援型(人材派遣)、受託開発ともに、コロナ禍の影響で顧客企業の内製化が進んだことや開発プロジェクトの予算縮小等の影響により、エンジニア派遣の需要が減少。稼働者数が減少したことから減収減益



その他事業

ウェブサイト構築事業が堅調に推移したほか、モバイルアクセサリ販売事業も伸長。インテリジェント・ステレオカメラ事業は引き続き投資が先行。今年2月に子会社化した株式会社アイティ・クラフトの業績は当セグメントに計上



売上高

101百万円

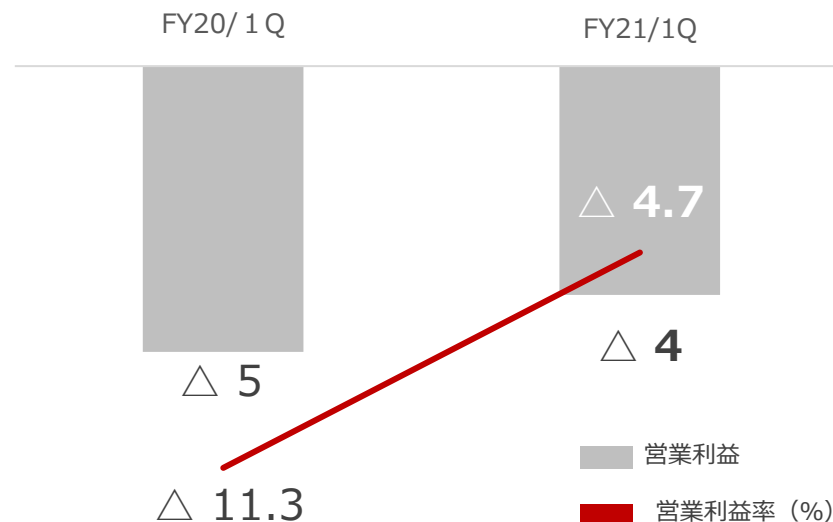
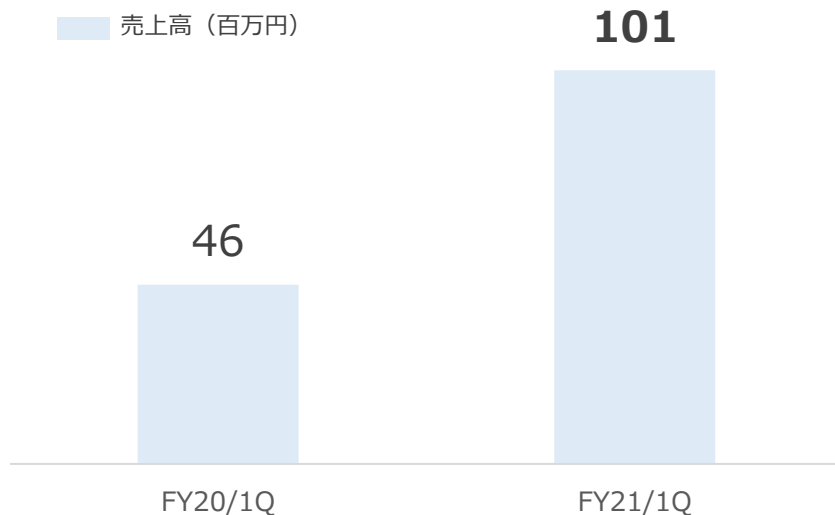
前年同期比
119.3%



営業利益

△ 4百万円

前年同期比
+ 1百万円



4

2022年3月期 通期連結業績予想と 今後の施策

2022年3月期 通期連結業績予想及び配当予想

2021年5月12日発表からの変更なし

■業績予想

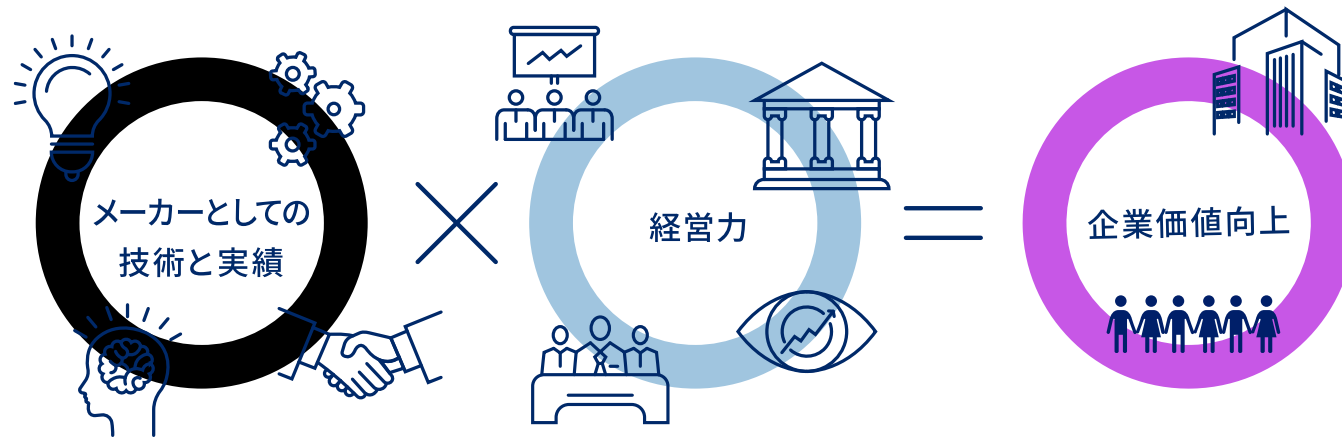
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2022年3月期	20,000	270	240	200
<ご参考> 前期実績 (2021年3月期)	15,920	220	199	467

■配当予想

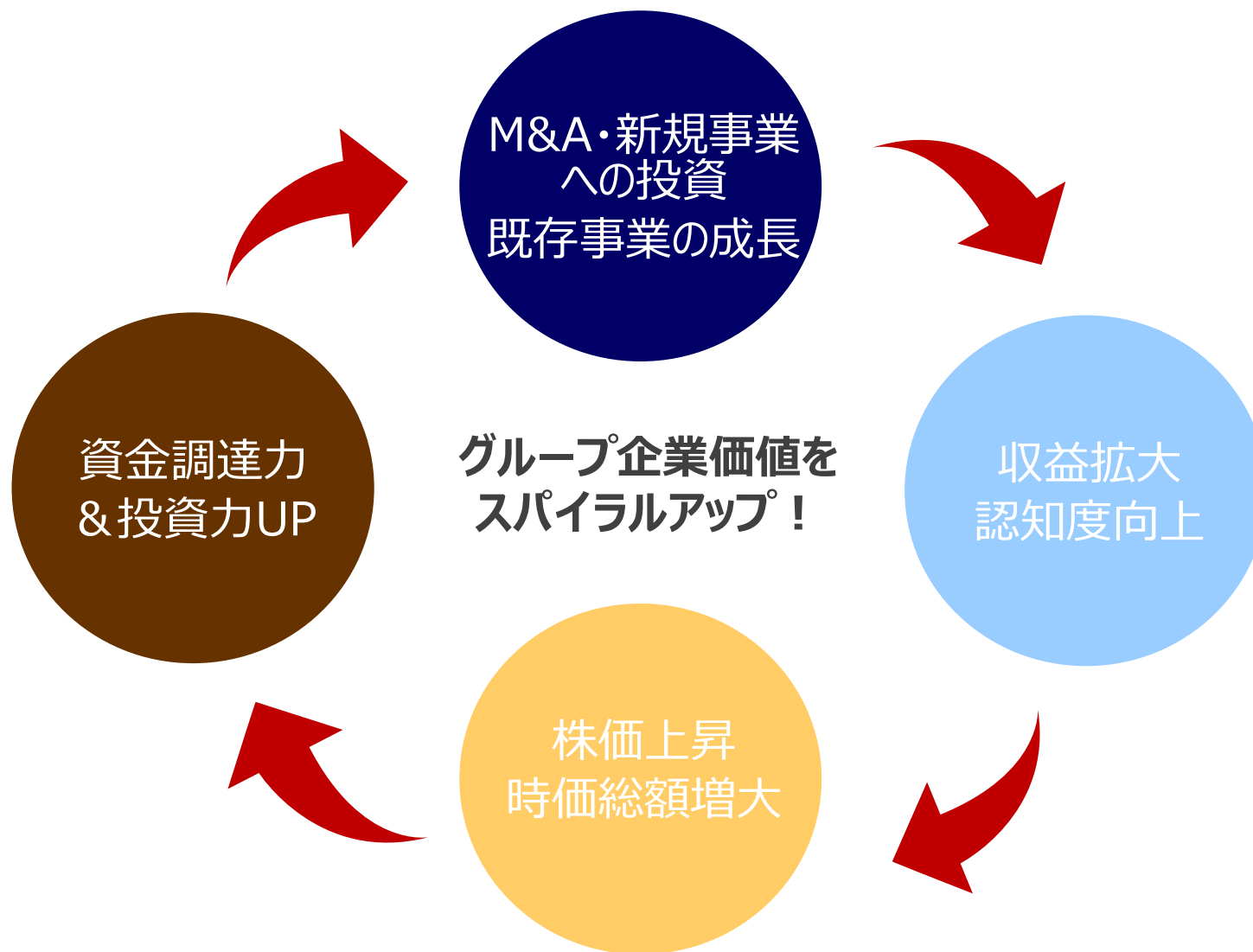
基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2022年3月期(予想)	0円00銭	6円00銭	6円00銭
2021年3月期(実績)	0円00銭	9円00銭 (普通配当6円00銭) (特別配当3円00銭)	9円00銭

今後の成長戦略



- M&Aや資本業務提携、ベンチャービジネスへの投資を積極的に推進し、事業規模を拡大
- 海外進出及び新規事業を行う子会社設立を通じて、新たな分野への挑戦を継続
- メーカーとしての技術・実績とファイナンス実行力を柱とする経営力により、企業価値の向上を目指す

グループ企業価値の拡大サイクル



5

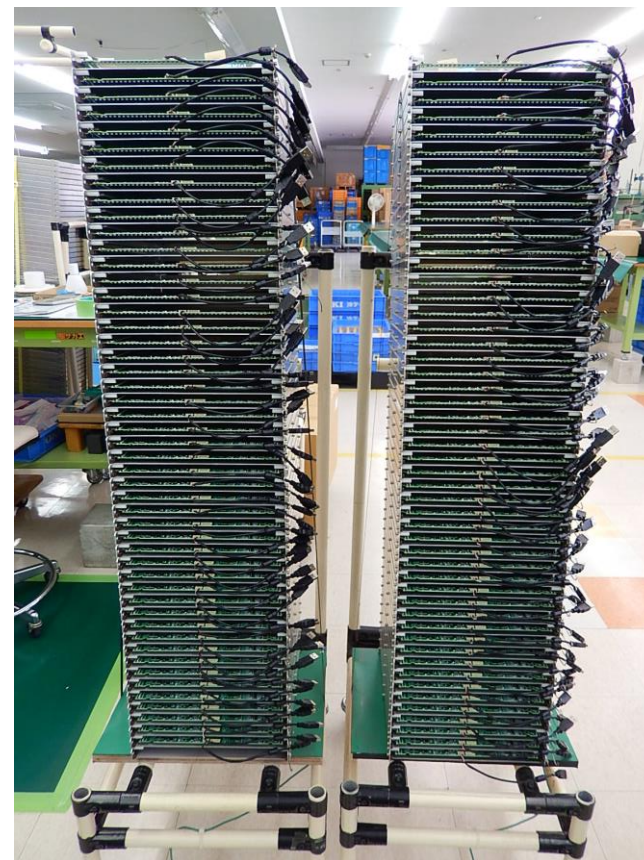
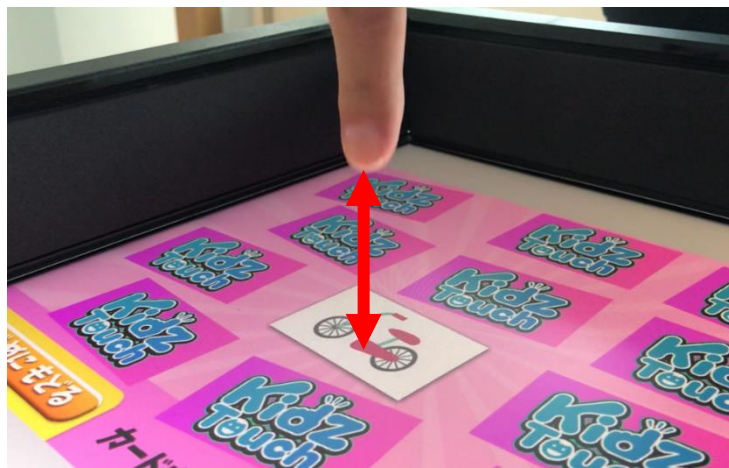
ミナト・トピックス

非接触赤外線センサー「ディスプレイ」、出荷開始

【ディスプレイとは】

画面に直接触れることなく、端末を操作することができる非接触赤外線センサー。

昨年度より、量産化に向けたサンプル納入を行っており、このたび部品として本格納入を開始しました。



プロeスポーツチーム 「CYCLOPS athlete gaming」のスポンサーに

PRINCETON



オリジナルゲーミングブランド「ULTRAPLUS」（ウルトラプラス）を手掛けている株式会社プリンストンは、プロeスポーツチーム「CYCLOPS athlete gaming」（サイクロプス・アスリート・ゲーミング）とのスポンサー契約を締結しました。

eスポーツは、社会的な認知度も年々高まってきており、関連する商品市場も拡大しております。当社グループでは、eスポーツ業界全体の発展に大きく寄与しているサイクロプスの活動を支援するとともに、ブランド認知度の向上に努めてまいります。



Polyの国内No. 1 代理店！ プリンストン、 「FY21 Distributor of The Year – JAPAN」受賞

テレビ・Web会議等のデジタル会議システムの関連機器等の販売を手掛ける株式会社プリンストンは、Plantronics, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、以下、「Poly」）日本法人より、Polyの2021年度（同社会計基準／2020年4月1日～2021年3月31日）における販売実績とPolyブランド及び製品の認知度向上への貢献度を高く評価され、国内の最も優れた認定ディストリビューターパートナーに贈られる「FY21 Distributor of The Year - JAPAN」を受賞いたしました。





appendix

会社概要

(2021.8現在)

ミナトホールディングス株式会社



[本社]

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町7-2
古賀オールビル6階

[代表者]

代表取締役会長兼社長 若山 健彦

[設立年月日]

1956年12月17日

[上場証券取引所]

東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)

資本金

1,062,673千円

拠点

4か国11拠点

役職
員数

約530名 (連結)

グループ会社

(2021.8現在)



サンマックス・テクノロジーズ株式会社
メモリーモジュール事業

PRINCETON

株式会社プリンストン
テレワークソリューション事業
デジタルデバイス周辺機器事業

MINATO

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社
デバイスプログラミング・
ディスプレイソリューション事業
インテリジェント・ステレオカメラ事業

G.WORKER

ジー・ワーカー株式会社
モバイルアクセサリ事業

eIT

株式会社イーアイティー
システム開発事業



日本ジョイントソリューションズ株式会社
ウェブサイト構築事業
広告の制作プロデュース事業

(海外)

港御（上海）
信息技术有限公司
デバイスプログラマ

MFP
MINATO FINANCIAL PARTNERS

ミナト・フィナンシャル・パートナーズ株式会社
財務コンサルティング事業
太陽光発電事業



株式会社パイオニア・ソフト
システム開発事業
イーアイティーとの経営統合を目指す

ITCraft

株式会社アイティ・クラフト
システム構築・SE派遣事業

港御（香港）
有限公司
デバイスプログラマ
メモリーモジュール

■ サンマックス・テクノロジーズ株式会社^他

- 産業機器用途向けコンピューター記憶装置（DIMM）の設計・製造・販売ノウハウを持ち、大手電機メーカーや半導体デバイス商社等へ販売
- PC、サーバー、MFP(多機能デジタル複合機)、POS、ATMなど用途は多岐にわたり、全数検査による高品質の製品供給が強み

DIMM（Dual Inline Memory Module）

複数のDRAMチップを基盤上に搭載したメモリーモジュールのこと。コンピューターのメインメモリとして利用。サンマックスはDIMMの主要調達部材であるDRAMの調達に優れており、DIMMの開発・製造・販売までを一貫して手掛けている。



SSD（Solid State Drive）



株式会社プリンストン（2020年8月に子会社化）

- テレビ・Web会議等のデジタル会議システム関連機器の販売及び保守サービスやライセンス販売等、ソリューションサービスを展開

米国Poly社及びシスコシステムズ社の国内有力パートナーとして長年にわたり構築してきた販売・保守サポート体制が大きな強み

クラウドサービスとして、各ブランドライセンスも取り扱い



ビデオ会議用ハードウェア（Poly）



大会議室用オールインワン会議システム（Cisco）

BlueJeans

CISCO
Partner
Premier Certified

Cisco Webex

zoom

株式会社プリンストン

- eスポーツ関連製品、メモリー、PCやスマホ等デジタルデバイスの周辺機器販売等を展開
- 自社ECサイト「プリンストンダイレクト」 (<https://www.princeton-direct.jp/>) の運営

eスポーツ市場向けのゲーミング関連



左：ゲームの世界に没入できる高スペックゲーミングヘッドセット
右：プリンストンオリジナルゲーミングブランド「ULTRA PLUS」

「GIGAスクール」向けのツール



左：端末を落下や衝撃から守る耐衝撃ケース
右：画面に直接ペンで記入できるiPad専用充電式タッチペン

デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業

■ ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社他

MINATO

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

- 1956年設立の電子機器製造メーカー。
- デバイスプログラマや自動プログラミングシステムの設計・販売のほか、ROMやCPUへのプログラム書込み事業（ROM書込みサービス）、タッチパネルやデジタルサイネージ関連機器の企画・設計・販売を手掛ける。

デバイスプログラマ

ROMやCPU等のデバイスにデータを書込むための装置。MATは1973年に国産初のデバイスプログラマを開発したこの分野のパイオニア。



ROM書込みサービス

デバイスプログラマを利用し、デバイスへの書込みサービスを展開。「自動プログラミングシステム」では大量の書込みを自動で行うことができ、大規模受注にも対応可能。



システム開発事業

株式会社イーアイティー／株式会社パイオニアソフト

- 株式会社イーアイティーと、2021年4月末に連結子会社化した株式会社パイオニア・ソフトが、システム開発業務を手掛ける
- 両社にて、営業面および管理面における協業を推進

株式会社イーアイティー



- システムエンジニアリングサービス
(WEBシステム・汎用系システム・ERPの開発、データベース・ネットワークの構築等)
- 各種システムの一括受託

株式会社パイオニア・ソフト



- ERP, EC, 証券業務等、大規模業務システムの受託開発事業
- ベトナムサテライトによるラボスタイル開発事業
- セキュリティ・コンサルティング事業

その他事業

成長分野で積極的に事業推進

日本ジョイント
ソリューションズ(株)



(株) アイティ・クラフト



- ウェブサイトの構築や広告の制作プロデュース
- セールスプロモーション、マーケティングのコンサルティング業務
- システム構築、技術者派遣

ミナト・アドバンスト・
テクノロジーズ (株)



- インテリジェント・ステレオカメラ事業
- 環境エレクトロニクス事業（LED照明の受注販売など）

ミナト・フィナンシャル・
パートナーズ (株)



- 財務コンサルティング、ファイナンスアドバイザー関連業務
- 太陽光発電事業（福島、群馬にて売電中）

ジー・ワーカー(株)



- モバイルアクセサリ等の販売

その他事業（インテリジェント・ステレオカメラ）

■ ミナト・アドバンスド・テクノロジーズが開発推進するカメラセンサー

- 業務提携先の東工大発ベンチャーITD Lab株式会社と連携した、測距、形状認識を高速で行う高性能2眼カメラセンサー
- 無軌道搬送機（AGV）等の自動運転、障害物センサー、産業用ロボット等の多分野での活用が期待。顧客のニーズに合わせた新型機の開発も進行中
- 株式会社アラヤとの連携により、ディープラーニング技術も導入



インテリジェント・ステレオカメラ「ISC-100VM」

ミナトホールディングス株式会社

JASDAQスタンダード：6862

<https://www.minato.co.jp/>

IRに関するお問い合わせ・各種取材のお申込みは、
広報マーケティンググループまでお願いいたします。

TEL:03-5847-2030 MAIL:mnt_ir@minato.co.jp

免責事項

- 本資料は、ミナトホールディングス株式会社並びにその子会社及び関連会社（以下合わせて「当社」又は「当社グループ」）に関する情報を提供するものであり、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って表示されています。
- 過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社の将来の実績の予測又は予想を示すものではなく、またその推定を示すものでもありません。
- 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた当社グループの現在の前提及び見解に基づくものであり、将来の業績の保証を意味するものではありません。また当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。